令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人 安代会
Social Welfare Corporation Ashirokai

Ⅰ　法人概要

１　経営理念

社会福祉法人安代会 CI　コーポレートアイデンティティ

MISSION

理念

「一生も、一瞬も。」

人は尊く、儚い人生を歩んでいます。

歩み続けた人生には、かけがえのない記憶や思い出が詰まっていて、
私たちはそれに寄り添うことを許される存在です。

寄り添うという言葉は簡単に聞こえるかもしれませんが、
決してそうではなく、視野を広げ、心を重ねるケアが必要です。

そのためには、その人を知り、共に暮らし、
想いをカタチにすることが大切なことだと思います。

「一瞬」の喜びや悲しみも共感すること、「一生涯」この郷土で暮らす価値を
提供するということが私たちの根幹に存在しています。

高齢社会を迎える日本、私たちはより一層社会の期待を背負っています。
歩みを止めず今日より明日、明日より未来が輝く社会づくりを実現する

一歩先行く社会福祉法人を目指します。

VISION

ビジョン

私たちは最善のケアをもって、
関わる全ての人が安心な生活を送れる社会を作ります。

VALUE

価値観

一人一人のらしさ、その人らしい生活を続けられる環境を作ります。

寄り添うことを大切に、心が通うコミュニケーションで対応します。

八幡平市に「働きたくなる会社」「働く喜び」を感じられる企業としてあり続けます。

介護業界の誇り、素晴らしさを体現し、業界の価値を高めることに貢献します。

ACTION

行動指針

Ⅰ
相手軸
相手の立場になって考え、行動する。

Ⅱ
尊厳
尊重の姿勢、敬う心を大切にする。

Ⅲ
チームワーク

助け合いの姿勢と行動。

Ⅳ
責任感

業務を完遂させ、責任を持つ。

Ⅴ
表情

笑顔で接し、笑顔を引き出す。

Ⅵ
原点

初心を忘れず、常に向上心。

Ⅶ
対話

丁寧なコミュニケーション。

２　事業概要

□第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームりんどう苑　　定員　58 名

□第二種社会福祉事業

老人短期入所事業

りんどう苑短期入所事業所　　定員　８名

老人デイサービス事業

りんどう苑デイサービスセンター　　定員　18 名

ふれあいセンター安代デイサービスセンター　定員　30 名

老人居宅介護等事業

ふれあいセンター安代訪問介護事業所

老人介護支援センター

りんどう苑在宅介護支援センター

障害福祉サービス事業

ふれあいセンター安代訪問介護事業所（基準該当）

認知症対応型共同生活介護

グループホームやがみ　　定員　９名

□公益事業

居宅介護支援事業

安代会居宅介護支援事業所

生活支援ハウスの受託経営

ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス　定員　10 名

Ⅱ　法人使命の推進状況

１ 令和７年度の重点目標

(1) サービスの質の向上

サービスの担い手でもある職員の質の向上を目指す。高齢者虐待防止やリスクマネジメント等に加え、介護機器や情報端末操作を習得しサービスに応用する。

(2) 事業継続計画（ＢＣＰ）の実践

自然災害や緊急事態、感染症等のリスクに対する計画を訓練や研修を通して実践する。各種防災設備の定期点検、実効性のある訓練及び研修、飲料水や食料をはじめとする生活物資と感染対策装備を適正に備蓄する。

(3) 地域との関係性

社会福祉法人の地域貢献事業を通して、利用者のみならず地域の方々が郷土で暮らす楽しさを支援し、感染対策を継続しながら、行事やボランティア活動を通して交流する。

２　基本理念、基本方針並びに令和７年度重点目標に基づく評価

前記の重点目標を掲げ各事業所が事業実施したが、特筆すべき点は以下のとおりである。

(1) 介護保険運営基準上にて定められている研修及び訓練については滞りなく実施した。ただし、サービスの質の向上について、効果があったかは検証できておらず課題が残った。介護職員１名を認知症介護実践リーダー研修に派遣し、認知症ケアの向上を試みようとしたが、不幸事と重なり派遣できなかった。介護機器の使用については、一部職員は習得としたが、全職員には浸透しておらず、引き続き、浸透度を深める研修が必要である。

(2) 各事業所においてＢＣＰ（事業継続計画、以下「ＢＣＰ」と呼ぶ）に基づく研修及び訓練を実施した。災害に備えた備品や機器を整備しつつ、不足な資材について検討している。年度末に特別養護老人ホームりんどう苑にてノロウイルス胃腸炎が蔓延し、嘔吐等に対する対応策についての不備が露見した。発生については致し方ないものの、感染が広まらないような対策が求められる。

(3) 現在も新型コロナウイルス感染症に準ずる感染対策は継続していることから、りんどう苑夏祭りのような大きな行事等に取り組むことができなかったが、地域支援組織でもある「沢目むつみ会」を招いての防災訓練は実施できた。地域貢献事業の一環である「ドライブサロン」は利用人数も維持され好評を得ている。引き続き、感染症の予防を実施した上でのボランティア受入や行事等の開催について進めていく。

Ⅲ　法人経営の具体的推進

１　法人運営状況

社会福祉法人として、地域福祉の中心的な担い手としてますます効果的、効率的な経営の実践が求められている。経営組織には高い公益性が求められており、令和７年度においてもガバナンス（組織統治）の強化により、自律的に適正な法人運営を実施できたと思われる。

(1)　評議員会開催状況

開催年月日	決議事項
令和７年６月 23 日	令和７年度定時評議員会 議案第１号　令和６年度社会福祉法人安代会決算について 議案第２号　社会福祉法人安代会理事として杉本泰憲氏を選任することについて 議案第３号　社会福祉法人安代会理事として小山田克則氏を選任することについて 議案第４号　社会福祉法人安代会理事として村上伸男氏を選任することについて 議案第５号　社会福祉法人安代会理事として宮野佐智子氏を選任することについて 議案第６号　社会福祉法人安代会理事として関節子氏を選任することについて 議案第７号　社会福祉法人安代会理事として奈良忍氏を選任することについて 議案第８号　社会福祉法人安代会監事として山本正信氏を選任することについて 議案第９号　社会福祉法人安代会監事として工藤加寿子氏を選

	任することについて

(2) 理事会開催状況

開催年月日	決議事項
令和７年６月５日	令和７年度第１回理事会 議案第１号　令和６年度社会福祉法人安代会事業報告について 議案第２号　令和６年度社会福祉法人安代会決算について 議案第３号　令和７年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第１号）（案）について 議案第４号　令和７年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第１号）（案）について 議案第５号　令和７年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス拠点区分補正予算（第１号）（案）について 議案第６号　社会福祉法人安代会評議員選任・解任委員の選任について 議案第７号　社会福祉法人安代会評議員候補者の決定について 議案第８号　社会福祉法人安代会評議員選任・解任委員会の招集について 議案第９号　社会福祉法人安代会理事候補者の決定について 議案第 10 号　社会福祉法人安代会監事候補者の決定にについて 議案第 11 号　令和７年度社会福祉法人安代会定時評議員会の招集について
令和７年６月 23 日	令和７年度第２回理事会 議案第１号　社会福祉法人安代会理事長の選定について
令和７年９月 26 日	令和７年度第３回理事会 議案第１号　社会福祉法人安代会定款細則の一部改正について 議案第２号　社会福祉法人安代会経理規程の一部改正について 議案第３号　令和７年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第２号）（案）について 議案第４号　令和７年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス拠点区分補正予算（第２号）（案）について 議案第５号　令和７年度グループホームやがみ拠点区分補正予算（第１号）（案）について 議案第６号　令和７年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第２号）（案）について
令和７年 12 月 26 日	令和７年度第４回理事会 議案第１号　ふれあいセンター安代訪問介護事業所の廃止について 議案第２号　社会福祉法人安代会苦情解決第三者委員の選任について 議案第３号　令和７年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第３号）（案）について

	議案第４号　令和７年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第３号）（案）について 議案第５号　令和７年度グループホームやがみ拠点区分補正予算（第２号）（案）について 議案第６号　令和７年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第３号）（案）について
令和８年３月 27 日	令和７年度第５回理事会 議案第１号　社会福祉法人安代会職員就業規則の一部改正について 議案第２号　社会福祉法人安代会職員給与規程の一部改正について 議案第３号　社会福祉法人安代会経理規程の一部改正について 議案第４号　りんどう苑デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議案第５号　グループホームやがみ運営規程の一部改正について 議案第６号　ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス（居住部門）運営規程の一部改正について 議案第７号　令和７年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分補正予算（第４号）（案）について 議案第８号　令和７年度ふれあいセンター安代拠点区分補正予算（第４号）（案）について 議案第９号　令和７年度グループホームやがみ拠点区分補正予算（第３号）（案）について 議案第 10 号　令和７年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス拠点区分補正予算（第４号）（案）について 議案第 11 号　令和８年度社会福祉法人安代会事業計画（案）について 議案第 12 号　令和８年度特別養護老人ホームりんどう苑拠点区分予算（案）について 議案第 13 号　令和８年度ふれあいセンター安代拠点区分予算（案）について 議案第 14 号　令和８年度グループホームやがみ拠点区分予算（案）について 議案第 15 号　令和８年度ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス拠点区分予算（案）について 議案第 16 号　令和８年度社会福祉法人安代会資金運用計画（案）について 議案第 17 号　特別養護老人ホームりんどう苑温水ヒーター更新工事について

(3)　監事監査

開催年月日	内　容
令和７年５月 26 日	令和６年度決算監査、令和７年３月分出納監査
令和７年８月 28 日	令和７年４月分から令和７年７月分までの出納監査
令和７年 12 月 24 日	令和７年８月分から令和７年 11 月分までの出納監査
令和８年３月 26 日	令和７年 12 月分から令和８年２月分までの出納監査

(4) 外部会計監査

開催年月日	内　容
令和７年４月 30 日	１月分から３月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等
令和７年５月 22 日	令和６年度会計決算監査（財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務）
令和７年７月 31 日	４月分から６月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等
令和７年 10 月 31 日	７月分から９月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等
令和８年１月 27 日	10 月分から 12 月分試算表の確認、小口現金の確認、現金取引の確認等

(5) 中長期計画策定委員会

開催年月日	内　容
令和８年３月 11 日	社会福祉法人安代会中長期計画書（2025 年度～2029 年度）に基づく重点行動計画について

２　各主要会議の開催状況

事業運営における課題について対策や情報共有を行い、ガバナンスの確立に努めた。

(1) 経営会議

開催年月日	内　容	参加者数
令和７年４月 15 日	経営実績シート、令和６年度事業報告書の作成について、令和７年度事業計画について、令和７年度予算について、令和７年度八幡平市ボランティアポイントについて、介護保険運営基準上の研修及び担当者について、令和７年度介護職員等処遇改善加算等に係る処遇改善計画及び令和６年度介護人材確保・職場改善環境等事業計画について	９名
令和７年５月 15 日	経営実績シート	９名
令和７年６月 16 日	経営実績シート、令和６年度決算について	９名
令和７年７月 15 日	経営実績シート、りんどう苑納涼花火について	９名
令和７年８月 15 日	経営実績シート、介護人材確保・職場環境改善等事業に係る一時金支給について、令和７年度八幡平市総合防災訓練について	８名

令和７年９月 16 日	経営実績シート、令和７年度上半期人事考課について	９名
令和７年10月15日	経営実績シート、令和７年８月分事業活動計算書について	７名
令和７年11月17日	経営実績シートについて、りんどう苑デイサービスセンターとふれあいセンター安代デイサービスセンターの個別機能訓練加算について	９名
令和７年12月15日	経営実績シート、令和８年度事業計画・予算編成案について	９名
令和８年１月 19 日	経営実績シート	７名
令和８年２月 16 日	経営実績シート、ＰＣ更新及びなりすましメールについて、中長期計画策定委員会事務局会議	６名
令和８年３月 16 日	経営実績シート、令和８年度辞令交付式、令和８年度所定休日計画、銀行等財形変更届について、令和８年度人事異動について	９名

(2) 苦情解決第三者委員会議

開催年月日	内　容	参加者数
令和８年３月 10 日	令和７年度社会福祉法人安代会苦情相談報告並びに意見交換	第三者委員　２名 苦情解決責任者　１名 苦情受付担当者　５名

(3)入退所判定会議

開催年月日	内　容	参加者数
令和７年５月 27 日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を決定	６名
令和７年８月５日	優先待機者から入所決定の事務局会議	５名
令和７年８月 27 日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を決定	６名
令和７年10月15日	優先待機者から入所決定の事務局会議	３名
令和７年11月６日	優先待機者から入所決定の事務局会議	３名
令和７年11月25日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を決定	８名
令和７年12月17日	優先待機者から入所決定の事務局会議	４名
令和８年１月 14 日	優先待機者から入所決定の事務局会議	４名
令和８年２月 24 日	第三者（行政）を交えて委員会を開催し優先待機者を決定	５名

(4) 給食会議

開催年月日	内　容	参加者数
令和７年４月 21 日	各事業所６月行事予定、新企画メニュー報告、献立見直し、停電時対応について、６年度嗜好調査報告	４名
令和７年５月 19 日	各事業所７月行事予定、グループホームやがみ朝食対応、異物対応について	６名
令和７年６月 16 日	各事業所８月行事予定、献立見直し、異物対応・害虫駆	５名

	除報告について	
令和７年７月 22 日	各事業所９行事予定、献立見直し、害虫駆除報告	５名
令和７年８月 18 日	各事業所 10 月行事予定、献立見直し、厨房内暑さ対策、停電時対応について	５名
令和７年９月 22 日	各事業所 11 月行事予定、献立見直しについて、グループホームやがみ朝食お粥代替えについて	５名
令和７年 10 月 21 日	各事業所 12 月行事予定、献立見直し、避難訓練及び炊き出し訓練、感染症対策について	３名
令和７年 11 月 17 日	各事業所１月行事予定、献立見直しについて	５名
令和７年 12 月 15 日	各事業所２月行事予定、献立見直し、害虫駆除報告、地震災害報告について	６名
令和８年１月 13 日	各事業所３月行事予定、献立見直し、雪害による納品遅延・未納対応について	６名
令和８年２月 16 日	各事業所４月行事予定、献立見直し、新年度行事食について	５名
令和８年３月 18 日	各事業所５月行事予定、献立見直し、感染時対応について	５名

３　人事管理の状況

総務省は労働力調査を発表したが、労働力人口は７千万人に達し、過去最高となった。少子化で生産年齢人口（15～64 歳）は減少しているが、働く高齢者や女性、外国人が増加しているためである。当会ではまだ外国人雇用に踏み切ってはいないが、盛岡市をはじめ、盛岡北部行政事務組合管内の事業所では外国人雇用が進んでいる。介護労働者数は約 212.6 万人と前年度を維持した、介護職員の処遇改善の効果が見てとれた。ただし、政府は令和 10 年度末までに外国人採用に上限を設けることとし、近い将来には日本人ばかりでなく外国人雇用も難しくなってくる。

４月と７月にそれぞれ介護職員１名ずつ採用した。社会人ではあったが、介護は初めての挑戦であった。残念ながら１名は離職したが、１名は勤勉で真摯に取り組んでいる。令和８年度からの採用を見込み、盛岡の専門学校等に求人票を示すも、在籍する専門学生も僅かであり、新卒からの採用は困難を極める状況である。ふれあいセンター安代デイサービスセンターの急激な利用人数の減少は続いたことから、職員配置人数の適正化に努めたが、人件費率は 100％近くに届き、経営に大きな影響を及ぼしている。

介護職員１名が介護支援専門員に合格し、無事に研修を履修した。引き続き、介護支援専門員や管理栄養士等を含めた専門職の確保は命題である。また、１名の介護福祉士の合格があり、今後も継続して資格取得を支援していきたい。令和７年度をもって正規職員の３名の定年退職があり、再雇用職員として２名就業している。令和８年度から新たに正規職員３名を迎えることができた。今後、毎年度、退職者１名以上となることから、年齢問わず採用を考えていかなければならない。現時点では、外国人雇用については、見通してはいないが、八幡平市の生産年齢人口等を考慮すると、具体的に考えていかなければならない時期も迫っている。

(1) 採用・退職の状況

職種	令和７年３月 31 日の職員数				年間就任・退任						令和８年３月 31 日の職員数			
	正職員	有期職員		計	正職員		有期職員				正職員	有期職員		計
		常勤職員	非常勤職員		就任	退任	常勤職員		非常勤職員			常勤職員	非常勤職員	
							就任	退任	就任	退任				
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
管理者	4	0	0	4	1	1	0	0	0	0	4	0	0	4
事務員	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
生活相談員	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
介護支援専門員	3	1	0	4	1	2	0	0	0	0	2	1	0	3
介護職員	29	6	6	41	3	3	2	1	0	1	29	7	5	41
看護職員	4	0	2	6	1	1	0	0	2	1	4	0	3	7
(管理)栄養士	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
機能訓練指導員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
介護助手	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
歯科衛生士	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
調理員	0	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
用務員	0	0	5	5	0	0	0	0	0	1	0	0	4	4
運転手兼介助員	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
合計	47	9	16	72	6	8	2	2	3	4	45	9	15	69

1　上記の員数は主たる職種のみを掲載

(2) 職員研修の状況

ア　施設外研修

年月日	研修名	参加数
令和７年４月 25 日	科学的介護情報システム（LIFE）研修会（実践編）	１名
令和７年５月 12 日	法人後見実施団体情報交換会	１名
令和７年５月 31 日	第２回介護福祉士を目指す留学生受け入れ支援セミナー	１名
令和７年６月 12 日	虐待防止研修～従事者による虐待の防止と支援～（基礎編）	１名
令和７年６月 14 日	定例研修会	２名
令和７年６月 27 日	介護人材マッチング支援等事業小規模介護事業所合同研修会「コミュニケーションスキル」	２名
令和７年７月１日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダー編）	１名

令和７年７月１日	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	２名
令和７年７月 14 日	消費者見守り研修	１名
令和７年７月 16 日	岩手県認知症介護実践者研修	１名
令和７年７月 17 日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員編）	１名
令和７年７月 28 日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員編）	１名
令和７年７月 29 日	介護施設における法律実務研修（アーカイブ配信）（ｵﾝﾗｲﾝ）	１名
令和７年８月５日	岩手県認知症介護実践者研修	１名
令和７年８月６日	研究報告会　情報交換会	４名
令和７年８月７日	岩手県県央保健所管内管理栄養士・栄養士研修会	１名
令和７年８月 20 日	研修会「誇りをもって仕事をする！ケアする人をケアする事例検討会」	３名
令和７年８月 21 日	岩手県介護職員等医療的ケア研修　技術確認演習１日目	１名
令和７年８月 23 日	すべての患者・利用者を守る基本のスキンケア	１名
令和７年８月 25 日	介護人材マッチング支援事業　小規模介護事業所合同研修会「虐待防止について」	１名
令和７年９月１日	高齢者施設向け感染症対策研修会	１名
令和７年９月２日	介護支援専門員従事者基礎研修	１名
令和７年９月５日	岩手県認知症介護実践者研修	１名
令和７年９月９日	リスクマネジメント研修実践編	１名
令和７年９月 18 日	岩手県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修	１名
令和７年９月 18 日	令和７年度東北ブロック老人福祉施設大会・研究会	１名
令和７年９月 19 日	虐待防止研修～従事者による虐待の防止と支援～【応用編】	１名
令和７年９月 26 日	排泄ケア　web セミナー	１名
令和７年 10 月６日	ケアマネ支援センター巡回相談研修	２名
令和７年 10 月 16 日	中央ブロック高齢者福祉協議会第１回生活相談員介護支援専門員部会職員研修会	１名
令和７年 10 月 18 日	認知症講演会シンポジウム	１名
令和７年 10 月 23 日	令和７年度岩手県認知症対応型サービス事業	１名
令和７年 10 月 29 日	中央ブロック高齢者福祉協議会防災委員会研修会	１名
令和７年 10 月 30 日	岩手県長寿社会課と高齢者福祉協議会の情報・意見交換会及び幹事会	１名
令和７年 11 月 13 日	全国共通ＷＥＢセミナー虐待防止と身体拘束防止	１名
令和７年 11 月 14 日	八幡平市栄養士等情報交換会	１名
令和７年 11 月 26 日	事務長等研修会	１名
令和７年 11 月 27 日	第１回看護部会職員研究会	２名
令和７年 12 月４日	岩手八幡平地域福祉サービス苦情解決情報交換会(基礎研修)	２名
令和７年 12 月４日	甲種防火管理新規講習	１名
令和７年 12 月５日	介護施設における安全対策担当者養成研修	１名
令和７年 12 月８日	中長期計画策定セミナー	１名
令和７年 12 月 12 日	盛岡地域歯科保健医療従事者研修会	２名
令和７年 12 月 13 日	令和７年度第２回定例研修会	２名
令和７年 12 月 22 日	盛岡地区岩手地区介護支援専門員協議会定例研修会	２名
令和８年１月 15 日	令和７年度第２回八幡平市地域ケア会議及び研修会	１名
令和８年１月 16 日	中央ブロック高齢者福祉協議会令和７年度(第 38 回) 職員研究会	５名
令和８年２月５日	第 14 回産業保健健康支援セミナー	１名
令和８年２月 17 日	令和７年度認定調査現任研修	１名
令和８年２月 17 日	介護施設等経営改善・従事者処遇改善等緊急支援事業に係る web 説明会	１名
令和８年２月 26 日	令和７年度自立支援型地域ケア会議	３名
令和８年３月 21 日	令和７年度第３回症例研究会	２名

イ　施設内研修

年月日	内容
令和７年４月１日	安代会新任職員研修 法人理念、各種規則・規程等 講師：施設長、看護師長、生活相談員、防災管理者、事務
令和７年５月１日 ～５月 14 日	第１回感染症研修 「わかりやすいスタンダードプリコーション」(動画研修　感想提出) 主催：感染症対策委員会
令和７年６月 10 日 ～６月 24 日	第１回感染症ＢＣＰ研修 「【障がい者施設等ＢＣＰ実践講座】＃３感染症 BCP とは【東京都】」（動画研修　感想提出） 主催：感染症対策委員会
令和７年６月 19 日 ～６月 27 日	第１回感染症ＢＣＰ研修（訓練） 「コロナ感染症発生に伴うＢＣＰ、ガウンテクニックの実際」（実地研修）
令和７年７月２日 ～７月 13 日	りんどう苑職員研修　緊急時の対応 「介護施設　緊急時の対応に関する研修」（動画研修　感想提出） 主催：看護職員
令和７年７月 14 日 ～７月 22 日	褥瘡予防対策委員会　職員研修会 「①30 度側臥位のポジショニング ②円背に対しての頭部・胸部ポジショニング ③リクライニング座位を安定させるポジショニング ④踵の褥瘡に対する下肢ポジショニング」（動画研修　感想提出） 主催：褥瘡予防対策委員会
令和７年７月 14 日 ～７月 31 日	第１回リスクマネジメント研修 「リスクマネジメント～再発防止対策事例②「さっきまで寝てたのに？」（動画研修　感想提出） 主催：リスクマネジメント委員会
令和７年７月 14 日 ～７月 31 日	第１回身体拘束適正化研修 「令和６年度義務化『介護職員のための高齢者虐待防止に関する研修」（動画研修　感想提出） 主催：身体拘束適正化委員会
令和７年８月１日 ～８月 15 日	衛生委員会職員研修会 「①無自覚パワハラをなくそう！気を付けるべきポイントを解説します ②第１回介護現場のハラスメントとその対策～ハラスメントの種類・傾向・具体例～」（動画研修　感想提出） 主催：衛生委員会

令和７年９月９日 ～９月 25 日	第１回医療的ケア研修 「口腔からの喀痰吸引」（実地研修） 主催：痰吸引安全委員会　講師：医療的ケア指導者
令和７年９月 29 日 ～10 月 12 日	りんどう苑職員研修　看取り介護・服薬について 「①【看取りケア】～後半～死生学・ＡＣＰ・相手に関心を持つ ②介護施設における誤薬について、誤薬は 99%なくなりません」（動画研修　感想提出） 主催：看護職員
令和７年 10 月 27 日 ～11 月 10 日	第１回虐待防止研修 「社会福祉法人安代会高齢者虐待防止セルフチェックリスト」（アンケート提出） 主催：虐待防止検討委員会
令和７年 11 月 10 日 ～11 月 30 日	第２回感染症研修 「手指衛生、手洗いの実際」（実地研修） 「①平時から実践する感染症対策の基本 ②施設や家庭でできる感染症胃腸炎対策～嘔吐物処理の手順～ ③【疥癬】高齢者施設で増加！～誰でもわかる優しい感染対策～」（動画研修　感想提出） 主催：感染症対策委員会
令和８年１月 16 日 ～１月 30 日	第２回身体拘束適正化研修 「【身体拘束廃止シリーズ第３弾】スピーチロック」（動画研修　感想提出） 主催：身体拘束適正化委員会
令和８年１月 16 日 ～１月 30 日	第２回リスクマネジメント研修 「リスクマネジメント・事故防止について」（動画研修　感想提出） 主催：リスクマネジメント委員会
令和８年１月 24 日 ～１月 31 日	第２回医療的ケア研修 「胃ろうによる経管栄養」（実地研修） 主催：痰吸引安全委員会　講師：医療的ケア指導者
令和８年２月 17 日 ～２月 28 日	第２回虐待防止研修 「これって虐待？事例から学ぶ判断方法（養護者編１）」（動画研修　感想提出） 主催：虐待防止検討委員会

(3) 自己啓発支援

内訳	人数	助成金額
衛生管理者受験費用	１名	8,800 円
自己啓発助成金	１名	4,730 円

４　財務管理の状況

施設介護料収益は前年と比べ3,000千円の減収となった。施設内で発生した感染症で入院者がでたことも影響している。また、１月から３月にかけて死亡退所が続いたことも要因である。短期入所は感染症に発生より、受け入れ中止をしていたが、居宅介護料収益は前年とほぼ変わらなかった。

在宅サービス利用者の減少により、ふれあいセンター安代拠点のデイサービスを地域密着型へ転換したが思うように収入は伸びなかった。しかし、りんどう苑拠点で4,000千円増収しているため、前年度の居宅介護料収益から地域密着型介護料収益に勘案すると前年と比べ2,000千円の増収となった。法人全体サービス活動では3,995千円の増収となる。これは地方公共団体からの物価高騰や処遇改善に係る補助金等が7,000千円の増収が影響している。

人件費については退職者分の退職給付金を差し引くと6,000千円の減少となる。これは定年や年度途中の退職によるものである。

経費については全体で2,089千円の増加となった。前年度から引き続き物価、重油・電気料金の単価が上昇しており、重油・電気代においては使用量の節制に努めたが、645千円増加した。今年度は車検台数が11台と多く、感染症も蔓延したため、費用が多く発生している。しかし、最大の要因は過年度の車両事故で保険を多く使用したことにより、前年に比べて1,000千円増加している。当期末繰越活動増減差額は145,506千円で前年比88.19%となった。

５　地域交流の状況

令和５年５月以降、新型コロナウイルス感染症が５類となったものの、感染症対策のためボランティア等の受入れはできていない。特別養護老人ホームりんどう苑においては例年通り安代地区民生児童委員のボランティアは外作業のみに留まったが、グループホームやがみ、りんどう苑デイサービス、ふれあいセンター安代デイサービスセンターでは田山小学校や安代小学校やとの交流ができた。入所者数名は、田山地区の行事に参加し交流ができた。今後も感染対策を継続したうえで外出機会を増やし、入所者の社会参加を促すことができるよう支援する。また、これまで制限されてきた活動が実施できるよう、ボランティアの受け入れ方法を検討していく必要がある。

介護実習については、感染対策を実施したうえで、継続して受け入れができているが、安代中学校への出前講座は昨年度より休止となり、生徒の施設見学受け入れについても実施できなかった。

(1) 慰問・ボランティア受け入れ状況

年月日	慰問・ボランティア団体名	内容	人数
令和７年５月13日	安代小学校（４年生）	見学、質疑応答	児童16名 引率２名
令和７年６月１日	沢目むつみ会（地域協力員）	苑庭床作り	１名
令和７年６月10日	民生児童委員ボランティア	苑庭草刈	25名
令和７年６月13日	沢目むつみ会 （沢目婦人会、苗代沢自治会）	花植え	21名
令和７年７月４日	沢目むつみ会 （老人クラブつるかめ会）	花壇草取り やがみ花壇草取り	９名
令和７年８月１日	沢目むつみ会 （新興通姥子石自治会）	花壇草取り	11名
令和７年９月12日	沢目むつみ会 （矢神田中自治会、地域協力員）	花壇草取り	12名

令和７年９月 30 日	あしろこども園	交流	園児４名 引率１名
令和７年 11 月７日	安代小学校（４年生）	交流	児童 16 名 引率２名
令和７年 11 月 13 日	田山小学校（５．６年生）	交流	児童５名 引率２名 （127 名）

(2) 視察・研修受け入れ状況

年月日	視察・研修受け入れ団体名	内容	備考
令和７年７月３日	安代中学校	職場体験	２名
令和７年 10 月 20 日 ～10 月 24 日	盛岡大学	介護等体験	１名 （３名）

（ ）は延べ人数

６　リスクマネジメント

保険者への介護事故報告数は３件。骨折の事例が２件あり。当該事例では、ともに職員の目が届きにくい居室内での出来事で確たる原因が不明であったため、可能性と要因を分析して対応策を検討した。ハインリッヒの法則を意識し、同様の事故が発生しないようにＰＤＣＡサイクルを進めていく対応が求められる。発生した事故案件については、家族からの慰謝料や賠償請求はなかったものの、損害にあたる治療費は善良管理者注意義務を履行し、事業所が負担することで事故終結している。

昨年度に引き続き介護事故及びヒヤリハット報告の要因分析をしたうえで対応策を検討する体制を整え、介護事故におけるＰＤＣＡサイクルを強固にしていく。

(1) 苦情相談の受付・解決の概要

ア　受付方法

分類	電話	手紙	本人	その他
苦情	2	0	4	0
相談	随時	随時	随時	随時

イ　苦情相談内容別解決方法

分　類	相談助言	紹介伝達	斡旋	通知	その他	継続中
サービス内容について	0	0	0	0	0	0
職員の対応について	6	0	0	0	0	0

(2) 事故発生状況

行政報告事故

事業所名	事故内容
特別養護老人ホームりんどう苑	居室内で立ち上がろうとし転倒、右大転子部頸部骨折
	居室内で歩行中に転倒、左手首の骨折
	居室ベッドから転落し、腰部打撲

７　ＩＷＡＴＥ・あんしんサポート事業

社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、制度の狭間にある方々の自立を支援するためセーフティネットを構築する事業である。アウトリーチを伴う活動により地域の福祉課題を把握し、新たな社会資源を創出することを目的として実施しているが、令和７年度の相談者はいなかった。

８　各委員会の活動状況

(1) 中長期計画策定委員会

安代会として３版目となる中長期計画書（2025 年～2029 年度）の１年目を検証した。社会・地域情勢を踏まえた趣旨や分析、重点目標と行動計画を記載している。単年毎の達成度を評価し、中長期的なビジョンを目指す。中長期的な視点で課題を捉えることで、環境変化に強く、単年度事業計画の大きな手助けになると考えられる。今後は毎年度、進捗状況を検証し、適切な法人運営を目指す。

(2) 苦情解決委員会

苦情件数は０件、改善依頼が６件だったが、いずれも職員の対応について本人や家族からの相談だった。基本的な職員の言葉遣いやコミュニケーションの齟齬によって生じたと考えられる相談がほとんどのため、各事業所においても改めて職員の言葉の対応について意識付けを行う必要がある。

(3) 防災対策委員会

特別養護老人ホームりんどう苑の令和６年度介護保険施設運営指導の指摘事項を改めた内容で、計画通り各事業所で年２回の防災訓練を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、地域支援組織「沢目むつみ会」と共同訓練を見送ってきたが、令和７年度より参加への呼びかけをした。残念ながら会員の都合が合わず参加できなかったが、今後の防災意識への契機ともなった。

(4) 衛生委員会

労災発生件数は５件で、危険個所の可視化について検討を行った。今後の防災に活用する。介護職員の身体的負担軽減については、福祉用具の活用に課題が残るものの、ラジオ体操や熱中症対策を委員会主導で引き続き実施した。また、ワークライフバランスについては福利厚生に関する連絡を電子化したことで、円滑な休暇の取得や福利厚生サービスの利用につながった。今後も現場の声を拾い、職場環境改善に努める。

(5) 感染症対策委員会

特別養護老人ホームりんどう苑では、感染予防対策が不十分な為に、ノロウイルス感染症のクラスター発生事案があり、標準予防対策が新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症を対象にしたものに偏っていたことを反省した。次年度は、流行時期的なことを考慮して、消毒液を変えるなど工夫していきたい。その他事業所での感染症の事案はなく、標準予防対策ができていると評価できる。定期的に研修会を実施し、各事業所で訓練を含めた感染対策を行っているが、感染症が日常的に存在するため、引き続き平時からの感染対策とサービス形態にあったマニュアル及びＢＣＰを実践し、蔓延防止に努めていきたい。

(6) 認知症ケア委員会

認知症の種類・症状についての動画研修を実施した。基本的な内容を選ぶことで職員全体が理解しやすく認知症に対する基礎知識の習得へつながった。外部からの情報や研修資料等も活用し、認知症ケアに対する理解を深められるよう研修を実施していく。

(7) 身体拘束適正化委員会

３ヶ月に１回の定例会議と必要時に開催する臨時会議において、各事業所の身体拘束の実態や抑制廃止の可能性について検討した。特別養護老人ホームりんどう苑において長期入所者２名、短期入所者１名の

身体拘束の必要な事例があった。定例会に加えて臨時の委員会を開催し、適切な手順、方法で身体拘束を行い、家族とも密に連絡を取りながら対応している。研修においても、身体拘束の要件や緊急やむを得ない場合について改めて周知することで、身体拘束の適正化に努めた。

日常の声がけについては、スピーチロックと捉えられるような声がけ、言葉遣いにならないように定期的に注意喚起、呼びかけに務めていく。

(8) リスクマネジメント委員会

３ヶ月に１回の定例会議と必要時に開催する臨時会議において、ヒヤリハット及び事故報告の共有と必要時の再検討を行った。ヒヤリハットの報告数が少ないため、今後もヒヤリハット報告の重要性を周知し、事故に対する気づきとして活用していく必要がある。認知症状が著明な入所者も多く、効果的な対応策が見いだせない事例があるものの、症状や健康状態を適切にアセスメントした上でリスク分析し、ＰＤＣＡサイクルの確立を目指す。マニュアルや24Hシートの改定は引き続き行っていく。

(9) 広報委員会

年４回の発行ができなかった。次年度は回数を決めず、伝えたい内容がある時に発行していきたい。また、ホームページやＳＮＳの運用方法も決めていく。

(10) 地域貢献委員会

安代会事業の「安心サポート事業」、「不良な生活環境を解消するための支援」についての案件はなかった。ドライブサロン事業においては感染症等での中断もなく、継続することができた。利用人数も横倍であり、今後も地域で暮らしていけるような支援を目指す。

① 地域貢献事業ドライブサロンに関すること

(1) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
利用者数	27	18	23	24	21	22	34	28	23	24	27	28	309	260

９ 防災訓練の活動状況

年月日	訓練種別	実　施　内　容	参加者
特別養護老人ホームりんどう苑拠点			
6月4日	総合避難訓練(前期)	日中、火災と水害を想定し消火、通報、避難誘導の要領を再確認した。消火については消火器の使用説明を行い初期消火への対応を訓練した。通報訓練では実際に消防署に通報し、適切な通報の仕方を訓練した。避難誘導訓練については避難経路を確認した。	職員（りんどう苑・りんデイ・居宅介護支援事業所）
10月29日	総合防災訓練（後期）	夜間、火災を想定し訓練を実施。利用者の安全確保を図るため、避難場所と手順の確認、防災技能、意識の向上、関係機関との連携の確認を行う。炊き出し訓練では実際に非常食を準備し、入所者の昼食として提供した。	職員（りんどう苑・デイサービス・居宅介護支援事業所・日清医療食品）

ふれあいセンター安代拠点			
10 月 21 日	総合避難訓練(前期)	日中、生活支援ハウス調理室ガスコンロの鍋からの火災発生を想定し、消防署への通報訓練、初期消火訓練(確認)及び避難訓練する。利用者の生命と安全確保、避難通路の確認ともに職員及び利用者の防災意識を高めることを目的とした。避難訓練終了後、ＢＣＰ訓練として、避難所開設時の使用物品の確認と稼働確認を行った。	職員（ふれデイ、生活支援ハウス） デイサービス利用者 生活支援ハウス入居者 社協職員
3 月 24 日	総合避難訓練（後期）	夜間帯、支援ハウス調理室ガスコンロから火災発生を想定し、消防署への通報訓練、初期消火訓練(確認)及び避難訓練する。入居者の生命と安全確保、避難通路の確認ともに職員及び入居者の防災意識を高めることを目的とした。	職員（ふれデイ、生活支援ハウス） 生活支援ハウス入居者
グループホームやがみ拠点			
9 月 17 日	総合避難訓練(前期)	日中、ボイラー室からの出火を想定し、消火器による初期消火訓練、避難誘導訓練、一般回線による通報訓練を実施する。ＢＣＰの自然災害の訓練については、避難開始の判断基準、避難場所、避難経路、非常持ち出し物品の保管場所を確認した。また、職員の連絡優先順位や利用者の避難優先順位等の確認を実施し、利用者の生命、安全な避難誘導を行い、職員及び利用者の防火意識を高める目的とし訓練を実施した。	職員 利用者
10 月 29 日	火災避難訓練	日中、ボイラー室より出火し消火器による初期消火失敗を想定し、避難先のりんどう苑までの避難訓練を実施する。滞りなく全員避難完了し避難経路や利用者の避難優先順位等確認できたが、もっと効率よく避難できる方法もあるのでは意見もあり、検討事項も確認できた。	職員 利用者
2 月 25 日	総合避難訓練(後期)	夜間、食堂台所からの出火を想定し、消火器による初期消火訓練、避難誘導訓練、一般回線による通報訓練を実施。宿直員も参加し、滞りなく実施。消防署より 119 番は救急番号も兼ねているため怪我や体調不良時には細かく質問するので利用者の薬情報や既往歴について答えられるようにと講評があった。	職員 宿直員 利用者

Ⅳ　事業別サービスの事業報告

１　特別養護老人ホームりんどう苑

年間平均介護度が 3.8 で推移し、前年度を維持している。退去された方は 21 名となり、退去者の９割が施設で看取りとなっている。機能低下により食事が摂れなくなるといった老化を自然な事と捉え、死を受容し、栄養を管から注入するといった延命行為はほとんど見られなくなった。そのため在所期間は著しく短くなり、入所及び退所が多くなった。当苑だけではないが入所待機者はほぼ解消され、被保険者にとっては良いことではあるが、経営する上では深刻な事態でもある。

新型コロナウイルス感染症の発症は限定的であったが、食中毒のノロウイルス感染症が蔓延した。吐物に対する危機感が薄れ、初動期及び消毒除菌に後手を踏んだことが大きな原因となった。感染症に対する訓練の重要性を痛感した年度となった。また、災害に見舞われた年度でもあった。中規模程度の地震が続き、夏の暑さは過去の記録を一蹴した。そして、冬季の大雪は事業に大きな爪痕を残し、連日の大雪は主要道路の国道 282 号線を麻痺させて事業を大きく後退させた。除雪に要する費用もうなぎ登りとなり、経営を圧迫して雪害となった。従来の予測では図りしれない災害に備えなければならない。

社会福祉サービス第三者評価をもとにした、自己評価を行う予定であったが実施できていない。サービスについて振り返ることができず、サービスの質の向上には至らなかった。認知症ケアを進めるために職員１名を上位区分にあたる認知症介護実践リーダー研修に派遣できなかった。引き続き実務的な研修に派遣し、サービスの質の向上を目指す。

①　入所者の利用に関すること

(1) 保険者別在籍状況

保険者	年度末現在数			令和７年度	令和７年度
	男性	女性	計	入所者数	退所者数
盛岡北部行政事務組合	16	29	45	15	20
二戸地区広域行政事務組合	1	3	4	2	1
鹿角市	0	2	2	0	0
盛岡市	1	0	1	0	0
合計	18	34	52	17	21

(2) 月別入退所状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
前月末入所者数	56	56	57	58	56	57	56	54	56	57	55	56
入所	2	1	1	0	1	0	1	4	2	3	1	1
退所	2	0	0	2	0	1	3	2	1	5	0	5
月末入所者数	56	57	58	56	57	56	54	56	57	55	56	52

※末日の入所者数には末日退所者は含まない。

(3) 要介護度別利用状況表

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	R6 年度
要介護度１	0	31	30	31	31	30	31	0	0	0	0	0	184	0
要介護度２	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	651
要介護度３	713	713	690	696	613	622	564	584	620	604	599	682	7700	8550
要介護度４	465	492	511	515	589	570	625	602	632	616	532	575	6724	6554
要介護度５	456	465	450	462	465	450	457	423	470	449	376	340	5263	4964

合計	1664	1732	1711	1735	1729	1702	1708	1639	1753	1700	1535	1628	20236	20705
平均	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8

(4) 入所者の認知症度別状況

区分	男性	女性	合計
自立	0	0	0
Ⅰ	0	1	1
Ⅱａ	0	2	2
Ⅱｂ	4	3	7
Ⅲａ	8	14	22
Ⅲｂ	3	6	9
Ⅳ	3	7	10
Ｍ	0	1	1

(5) 入所者の寝たきり度状況

区分	男性	女性	合計
自立	0	0	0
Ｊ１	0	0	0
Ｊ２	0	1	1
Ａ１	0	0	0
Ａ２	4	10	14
Ｂ１	3	7	10
Ｂ２	7	12	19
Ｃ１	1	0	1
Ｃ２	3	4	7

（令和８年３月31日現在）

(6) 月別面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
家族数	19	34	32	59	36	28	45	38	31	26	12	32	392	396
面会数	41	77	65	107	92	50	94	77	66	70	23	78	840	862
1日平均	1.3	2.4	2.1	3.4	2.9	1.6	3.0	2.5	2.1	2.2	0.8	2.5	2.2	2.3

※感染対策のため面会規制中

② 入所者の処遇に関すること

(1) クラブ活動実施状況

クラブ名	参加人数（延べ）	平均参加人数	開催状況
手工芸クラブ	0	0	0
お料理クラブ	0	0	0

(2) 行事・レクリエーション活動等　実施状況

月	内　容	参加人数
4月	誕生会　開苑記念食事会	110人
5月	誕生会　母の日	75人
6月	誕生会　父の日	75人
7月	誕生会　夕涼み会	75人
8月	誕生会　盆供養　体操　花火鑑賞	110人
9月	誕生会　体操　敬老会　秋彼岸供養	110人
10月	誕生会	50人
11月	誕生会	50人
12月	誕生会　クリスマス会　正月準備	80人
1月	誕生会　鏡開き	75人

2月	誕生会　節分	75人
3月	誕生会　お料理クラブ　春彼岸供養	75人
計		960人

③　入所者の健康管理に関すること

(1) 入所者の疾病別状況

（令和8年3月31日現在）

病　名	男	女	計	病　名	男	女	計
心臓疾患	6	14	20	内分泌・代謝系疾患	0	5	5
脳血管疾患	13	12	25	精神系疾患	8	8	16
呼吸器系疾患	5	3	8	便秘症	14	34	48
消化器系疾患	3	8	11	高血圧症	12	22	34
泌尿器系疾患	8	3	11	糖尿病	1	1	2
整形外科系疾患（骨粗鬆症含む）	7	11	18	悪性新生物	1	0	1
アルツハイマー	9	23	32	経管栄養	3	1	4
レビー小体型認知症	1	0	1	ペースメーカー	2	1	3
認知症	3	21	24	膀胱留置カテーテル	2	0	2
パーキンソン症候群	1	3	4	在宅酸素	0	0	0

（重複あり）

(2) 各種検査・治療・予防接種・通院・入院状況

（令和8年3月31日現在）

各種検査（延回数）		通　院（延人数）		入　院（延日数）	
血液検査	70	内科	9	内科	6名192日
胸部X線	70	整形外科	5	外科	0
腹部X線	36	精神科	3	神経内科	0
尿検査	10	循環器科	2	整形外科	1名36日
服薬	58	眼科	0	脳外科	0
感染症（ノロウイルス）	33	皮膚科	0	泌尿器科	0
感染症（インフルエンザ）	0	耳鼻科	0	精神科	0
感染症(新型コロナウイルス)	0	外科	4	消化器科	0
排便管理	58	泌尿器科	0	呼吸器科	0
インフルエンザ予防接種	53	脳神経外科	0	循環器科	0
新型コロナウイルスワクチン	50	歯科	15	歯科	0

④　入所者の給食に関すること

(1) 食事形態について

（令和8年3月31日現在）

主食	ごはん	やわらか	おかゆ	ゼリーおかゆ	経管栄養	総計
男	1	5	6	3	3	18
女	7	5	18	3	1	34
総計	8	10	24	6	4	52

副食	経管栄養	ミキサー食	ソフト食	きざみ食	一口常食	常食	総計
男	3	1	2	6	3	3	18
女	1	3	2	14	8	6	34
総計	4	4	4	20	11	9	52

(2) 年間行事食提供状況

行事名		献立名
4月	開苑記念日	手毬寿司、太巻き、天ぷら、すまし汁 果物盛り合わせ、日向夏ケーキ
8月	夕涼み会	焼きそば、焼きおにぎり、盛り合わせプレート、海老と夏野菜の冷やし鉢、スイカ、アイスクリーム
9月	敬老会	穴子ちらし、銀たらの照り焼き、天ぷら、牛肉と里芋しぐれ煮、炊き合わせ、菊とほうれん草の和え物、栗ぜんざい、果物(巨峰・梨・ムース)、紅白そうめん汁、ケーキ・饅頭
11月	食事会	手毬寿司、太巻き、かぶと菊の酢の物、ケーキとフルーツ盛り合わせ、ひっつみ、レアチーズムース
12月	クリスマス会	ピラフ、ビーフシチュー、星のコロッケ、シーフードマリネ、イチゴムース、クリスマスケーキ

(3) 年間栄養摂取状況

成分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	基準値
エネルギー	1541	1573	1588	1574	1575	1587	1558	1572	1561	1560	1558	1551	1567	1532
たんぱく質	59.4	59.2	60.5	60.4	59.5	60.8	59.4	60.5	59.8	59.3	60.9	60.4	60	49
脂質	44.2	46.1	43.8	45.4	46.7	46.7	44.4	44.9	45	44.3	44.5	44	45	42.5
カルシウム	949	1004	978	936	967	949	974	942	966	969	988	955	965	589
鉄	7.4	7.6	7.4	7.5	7.8	7.8	7.4	7.4	7.8	7.9	7.6	8.2	7.7	5.2
レチノール活性等量	484	506	491	570	582	611	540	568	519	476	505	528	532	697
ビタミンB1	1.44	1.44	1.49	1.50	1.43	1.50	1.45	1.44	1.46	1.44	1.46	1.47	1.46	1
ビタミンB2	1.47	1.54	1.55	1.49	1.51	1.52	1.49	1.49	1.50	1.49	1.56	1.54	1.51	1.1
ビタミンC	79	74	79	69	82	96	79	95	86	80	88	87	83	91
塩分	6.5	6.5	7	6.5	6.6	6.4	6.3	6.5	6.3	6.4	6.4	6.5	6.5	7

⑤　入所者の機能訓練に関する事

概ね週に４時間以内で個別機能訓練を実施し記録することができたが、２月以降は感染症流行により継続的な実施が困難であった。訓練内容としては起立訓練や歩行訓練のほか、入所者の機能にあわせた基本動作訓練やトイレ動作訓練などのＡＤＬ訓練も実施した。訓練前には訓練可否を含めた体調確認を行い、訓練後は状態の報告など他部署と連携を図るよう努めた。今後も引き続き、多職種と協同し入所者の状態に合わせた機能訓練を行う。

⑥　委員会の活動状況

(1) 入退所検討委員会

３ヶ月毎に行政・第三者委員を含めた委員会を招集し入退所者の検討を行い、必要と認められる際は随時開催している。今年度は17名(男性５・女性12)の入所と21名(男性７・女性14)の退所があった。当苑だけでなく、特別養護老人ホームへの待機状況は解消されつつあり、特に早期に入所が必要な待機者は著しく減少している。ただし、申請者のニーズも多様化しているため、個々のケースに適した検討を行う必要がある。

(2) 生産性向上委員会

令和７年度より介護保険制度に習い、サービス向上委員会を生産性向上委員会と改めた。介護の生産性というと聞こえは良くないが、この生産性とは利用者に直接影響しない、記録等の間接業務の効率化である。そこで介護システムの効率性を上げるべく、システム会社の社員をアドバイザーとして招き、幾つかの手書き報告書をＰＣ上で記入できるように改めた。一部職員には好評を得たが、不慣れな職員への浸透は難しいと感じた。引き続き、全職員への周知を図っていく。

(3) 褥瘡予防対策委員会

定例会だけでなく、職員間でタイムリーに褥瘡リスクの高い利用者の状態把握に努め、その都度予防的に対応することができていた。日常的に、洗浄・保湿・体位交換（除圧も含め）など対策を行うことができていた。今後も皮膚観察を続け適宜評価、処置を継続する。また職員で統一したケアが行えるよう研修も実施し、新たな褥瘡発生予防に努めたい。

(4) 排泄検討委員会

入所者の状態変化に合わせた排泄方法、使用物品の見直しを行うことができた。また、動画研修や講師の方を招いての研修会を通して職員の知識と技術の習得に役立てる事ができた。今後も実施して快適な排泄支援を目指す。

(5) 食事サービス委員会

常備している非常食について検討した。５～７年保存の食品を試食した。10月の避難訓練日には炊き出し訓練と保管場所を再確認した。次年度は職員への周知に努めたい。委員構成も特養養護老人ホーム、デイサービス、グループホームの３事業所から構成され、課題テーマ選出に難航したが、各事業所の共通理解を深める機会となった。引き続き、サービス向上改善につなげたい。

(6) 行事クラブ委員会

感染症対策のために家族会と大規模な行事は実施せず。苑内で楽しめる行事を行った。前年度引き続き「ふれあい交流会の代わりに施設長杯（ミニ運動会）を開催し、入所者と一緒に楽しむことができた。法人の苑夏祭りの代替えに、特別養護老人ホームりんどう苑では小規模ながら夏祭りを開催し、輪投げやどっぴきなどの模擬店を開き、思い出を形に残すことが出来た。一人ひとりの写真を撮影する事を目標にし、特に大きい催しのときは、入所者全員を撮影することができた。感染症を予防しながら更により良い行事を開催できるよう努めていく。

(7) 口腔内のたん吸引等安全委員会

安全委員会を定期的に（隔月、不測の事態が生じた場合は随時）に開催した。事故及びヒヤリハット案件なし。医療的ケア業務従事認定者への研修会を開催し、介護職員が口腔内の痰吸引を安全に実施するとともに、医療的ケア技術の向上を図ることができた。今後も研修会を繰り返し実施し、介護職員の医療的ケアが安全に行われるよう努めていきたい。

２　りんどう苑短期入所事業所

令和６年度と同様に日常生活動作が自立している要介護度２の利用が多かった。令和６年度もそうであったがインシュリン注射や在宅酸素をはじめとした医療依存度の高い利用者が多く、例えば朝食前のインシュリン注射に対応すべく、看護職員の出勤時間を変更するなどして対応した。

年度末に１名の利用者から端を発したノロウイルス感染症は、その対応に困惑した。依然、新型コロナウイルス感染症仕様の感染対策を施しており、ノロウイルス感染症の嘔吐物に対する知識や研修が不足していたことが露見した。３月は予定利用者の半分に終わったが、年間を通して多く利用していただくことができた。ただ、レクリエーション活動は少なく、利用者同士の交流が乏しい現状であることから、今後は積極的に支援する必要がある。また、機能訓練等のニーズにも応えることができるように、しっかりと個別計画していきたい。

① 利用状況に関すること

(1) 要介護度別短期入所利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
要介護度１	14	18	17	26	33	32	28	38	15	7	17	25	270	221
要介護度２	107	104	123	143	111	129	100	83	130	116	98	26	1270	1104
要介護度３	36	95	69	70	67	73	90	94	80	90	60	35	859	763
要介護度４	52	6	5	5	3	11	5	4	4	12	14	4	125	428
要介護度５	0	0	9	4	8	8	8	10	14	20	13	13	107	85
合計	209	223	223	248	222	253	231	229	243	245	202	103	2631	2601

(2) 要介護度別介護予防短期入所利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
要支援１	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	10	13
要支援２	0	0	0	0	11	0	7	0	0	8	0	0	26	15
合計	5	0	0	0	11	0	7	0	0	13	0	0	36	28

(3) 八幡平市配食サービス受託事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
利用者数	26	26	26	28	35	35	37	42	40	28	24	26	373	342

３　りんどう苑デイサービスセンター

５月から 11 月まで利用率は目標値の 80%を超えていたが、12 月以降はショートステイや越冬等の影響もあり、徐々に下回るようになった。また、前年度より延べ利用者人数は増加しているものの、目標の予定利用者人数には届いていない。今後も、介護予防の視点を含めた活動的なサービス利用を地域に浸透させることで新規利用につなげたい。さらに、介助・介護が必要な方の増加が予想されるため、対応力を高めてサービスの質の向上にも努めていきたい。感染症が蔓延することはなかったが、引き続き感染対策を継続し、サービスが中断ならないように取り組みたい。

① 利用状況に関すること

(1) 利用登録状況　（令和８年３月 31 日現在）

区分	男性	女性	合計
舘市・兄川	1	2	3
石名坂・瀬の沢	0	12	12

(2) 世帯状況　（令和８年３月 31 日現在）

区分	男性	女性	合計
一人暮らし	0	9	9
夫婦暮らし	3	1	4

新興通・苗代沢	0	7	7
田山・杉沢	4	7	11
栗木田・長者前	1	2	3
新町	0	0	0
合計	6	30	36

家族と同居	3	20	23
合計	6	30	36

(3) 要介護度別通所介護利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
要介護度1	89	93	92	92	85	93	112	93	98	72	71	63	1053	1197
要介護度2	122	111	117	138	123	125	130	114	91	94	101	117	1383	1585
要介護度3	77	96	69	75	76	78	75	54	57	49	52	66	824	498
要介護度4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
要介護度5	0	0	19	22	18	20	20	18	16	10	14	15	172	0
実施日数	22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	21	256	256
合計	288	300	297	327	302	316	337	279	262	225	238	261	3432	3336

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス利用状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
要支援1	8	9	11	14	12	12	7	11	12	9	11	18	134	157
要支援2	3	4	3	4	3	3	6	3	5	2	8	7	51	101
実施日数	22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	21	256	256
合計	11	13	14	18	15	15	13	14	17	11	19	25	185	258

(5) 活動状況

	内容		内容
4月	スカットボール　ピンポンでポン　輪投げゲーム　ペットボトルボーリング　どっぴき	10月	茶話会・間違い探し　テーブルカーリング　ペットボトルボーリング　ボール仕分けゲーム　長さ比べ
5月	仕分け上手　障害物競走　ボール送り　倒せモンスターボックス	11月	スカットボール　パック詰め競争　輪投げゲーム　手工芸
6月	的当てゲーム　ペットボトル倒し　誕生会（4.5.6月）　七夕装飾	12月	手工芸　クリスマス装飾　誕生会（10.11.12月）　的当てゲーム
7月	輪っか集め　スカットボール　ゴルフで打ち上げ花火　長さ比べ　魚釣りゲーム	1月	かるた大会　どっぴき　倒せモンスターボックス　輪っか集め
8月	ならべてポン　上映会・ビデオ鑑賞　どっぴき　往復リレー	2月	豆まきゲーム　スカットボール　輪投げゲーム　春の装飾
9月	鯉のえさやり　輪投げゲーム　共同作品作り　誕生会（7.8.9月）	3月	春の装飾　ピンポンでポン　誕生会（1.2.3月）　茶話会・間違い探し　スカットボール

(6) 八幡平市日中一時支援事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16

(7)運営推進会議開催状況

開催年月日	内　　容	参加者
令和７年５月２７日	１）事業運営の基本方針 ２）日常サービスの提供内容や定例行事の実施報告 ３）利用者の構成（年齢、要介護度、利用年数等） ４）事故・ヒヤリハット報告（事故３件　ヒヤリ１件） ５）その他	６名
令和７年 11 月 25 日	１）日常サービスの提供内容や定例行事の実施報告 ２）利用者の構成（年齢、要介護度、利用年数等） ３）事故・ヒヤリハット報告（事故１件　ヒヤリ７件） ４）その他	５名

４　安代会居宅介護支援事業所

近年、ケアラー(ヤングケアラー、ダブル・トリプルケアラー、老々介護、老障介護)、難病、障がい、生活困窮といった課題が山積しているケースが多い。重層的な支援を必要とするケースに対し、事業所として、また介護支援専門員として高次なケアマネジメントが求められると感じる場面が多々あった。また、利用者及び家族の価値観も多様で、援助方法や面談技法の向上が必要だと感じた。そのため外部研修への積極的な参加は勿論のこと、内部研修の回数や内容の充実を図った。結果、ケアマネジメント力や多様な価値観への対応力は向上した。しかし、技術知識向上と反して利用者数は微増に留まった。高齢者人口の減少、家族介護力の脆弱化(家族が遠方に住んでいる)などが背景にあると思われる。今後も利用者の増加は難しいかもしれないが、サービス事業者や包括支援センター、医療機関と連携を図り、兼ねて事業所、介護支援専門員の更なる技術知識向上と細やかな支援で、利用者及び家族の満足度の向上と在宅生活の維持が利用率に反映するようにしていく。

(1) ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
要介護度１	22	25	26	26	28	30	33	32	30	27	26	29	334	245
要介護度２	29	26	26	26	26	27	27	27	30	27	26	25	322	385
要介護度３	14	15	15	14	16	14	11	9	9	10	9	10	146	163
要介護度４	5	3	2	1	1	1	1	1	1	1	3	2	22	22
要介護度５	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	29	26
合計	72	71	72	70	74	75	75	71	72	67	66	68	853	841

(2) 介護予防ケアマネジメントケアプラン作成数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援１	14	11	12	18	11	11	10	10	10	14	10	11	142	131
要支援２	14	17	16	10	16	17	18	18	17	13	18	18	192	207
合計	28	28	28	28	27	28	28	28	27	27	28	29	334	338

５　りんどう苑在宅介護支援センター

月に１度、地域巡回をし、相談窓口の広報を行った。広報紙(チラシ)を刷新してから、年々チラシを見た方からの電話相談が多くなっている。窓口としての機能を適切に果たし、地域包括支援センターに早期に紹介することができている。依然、要介護認定に係る申請支援の相談が多い。また、月に１度の地域巡回を年度途中から「実態把握」に計上することで、実態把握件数は増加している。昨年度は訪問サービスの相談がほぼなかったが、今年度は数件の相談があった。すべて訪問介護の相談である。しかし地域に訪問介護事業所がなく、近隣事業所との協議を重ねたが訪問が見込める状況に至らなかったこともあり、相談を受けても具体的な対応ができないことがあった。

(1) 相談業務状況

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護に関する相談													
介護方法等	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	4
認知症・精神	0	2	1	3	1	0	0	0	1	1	1	0	10
医療に関する相談	0	1	2	2	0	1	0	3	0	0	1	1	11
介護保険に関する相談													
介護保険制度全般	0	0	0	3	1	0	1	1	1	1	0	0	8
要介護認定	2	0	4	2	4	0	6	3	2	9	4	2	38
ケアプラン作成	1	0	0	5	1	0	0	0	2	0	0	1	10
介護サービス（在宅）													
訪問サービス	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	2	7
通所サービス	1	1	0	0	1	0	1	0	2	2	1	1	10
短期入所サービス	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
地域密着型サービス	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	4
特定施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用料及び保険料関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉サービスに関する相談													
生活支援	0	1	2	2	0	0	1	0	0	0	1	1	8
介護予防・生きがい活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族の介護支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康づくりと保健事業に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所に関する相談	0	0	4	3	1	1	2	1	2	0	0	2	16
福祉用具に関する相談	0	0	2	2	2	2	2	0	0	2	3	1	16
住宅改修に関する相談	0	0	0	1	3	3	1	0	0	0	0	0	8
諸制度に関する相談													
諸手帳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
諸手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
実態把握	0	2	2	0	0	0	0	0	3	20	10	12	49
苦情に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年金・保険・財産に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護に関すること													
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老人福祉施設等への措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
困難事例に関するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者被害に関するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4

合計	5	8	18	28	14	7	15	10	14	36	25	27	207

６　ふれあいセンター安代デイサービスセンター

地域密着型事業所へ移行後、利用者数は一定期間維持していたが、８月以降は入院やショートステイの利用増加により、延べ利用者数は当初見込みを下回る結果となった。また、要支援者の割合が多いことから利用回数も少なく、全体として介護報酬の伸びは限定的であった。さらに、介護度に対して介助量が多い利用者も見受けられることから、適切なサービス提供につなげるため、関係機関と連携しながら介護度の見直しを進めている。今後は、利用者の状態やニーズに応じた利用回数の提案や関係機関との連携強化を図り、利用状況の安定化および収益の向上に取り組んでいく。

① 利用状況に関すること

(1) 利用登録状況　（令和８年３月 31 日現在）

区分	男性	女性	合計
新町地区	3	16	19
細野・畑地区	3	6	9
赤坂田地区	0	2	2
曲田地区	0	0	0
浅沢・五日市地区	1	15	16
田山・杉沢地区	0	0	0
舘市・兄川地区	0	0	0
新興通り・苗代沢	0	0	0
合計	7	39	46

(2) 世帯状況　（令和８年３月 31 日現在）

区分	男性	女性	合計
一人暮らし	2	13	15
夫婦暮らし	0	4	4
家族と同居	5	22	27
合計	7	39	46

(3) 要介護度別通所介護利用状況表

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	R6 年度
要介護度１	57	66	71	89	83	94	96	95	98	71	74	96	990	869
要介護度２	69	79	79	69	56	58	69	46	45	42	43	48	703	1167
要介護度３	54	44	43	46	39	33	36	26	29	21	22	50	443	656
要介護度４	4	4	3	4	3	4	3	4	3	7	4	8	51	44
要介護度５	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59
実施日数	22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	22	257	256
合計	184	193	196	208	181	189	204	171	175	141	143	202	2187	2822

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス利用状況表

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	R6 年度
要支援１	38	29	28	27	21	21	21	20	23	23	24	25	300	265
要支援２	44	50	42	42	30	45	43	42	46	39	42	41	506	724
実施日数	22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	22	257	256
合計	82	79	70	69	51	66	64	62	69	62	66	66	806	989

(5) 活動状況

	内容		内容
４月	ビデオ鑑賞　長さ比べ　スカットボール　ビンゴゲーム	10 月	コーンボール　ビンゴゲーム　ペタボード　ビデオ鑑賞

5月	ビデオ鑑賞　タオル掛け　サイコロサッカー　ペットボトルバッティング　リング＆コーン輪投げ	11月	長さ比べ　スカットボール　すき焼きゲーム　ソフトダーツ
6月	ソフトダーツ　すき焼きゲーム　誕生会　点取りルーレット　ボウリングゲーム	12月	輪投げ　魚釣りゲーム　クリスマス会/誕生会　ビデオ鑑賞
7月	ビンゴゲーム　ターゲットプレイゲーム　魚釣りゲーム　輪投げ	1月	すごろくゲーム　スカットボール　輪投げ　節分鬼退治
8月	すごろくゲーム　マジックナイン　夏祭り　ローラー大作戦	2月	ローラー大作戦　大金持ちゲーム　リング＆コーン　ボッチャ
9月	大金持ちゲーム　長さ比べ　誕生会　収穫ゲーム　ボウリングゲーム	3月	ビンゴゲーム　輪投げ　誕生会　マジックナイン　ビデオ鑑賞

(6) 八幡平市日中一時支援事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
利用者数	8	9	7	8	9	9	9	8	8	7	8	9	99	98

(7)運営推進会議開催状況

開催年月日	内　　容	参加者
令和7年9月24日	1）事業所概要 2）運営状況（利用者数の推移、平均年齢、要介護度等） 3）活動報告 4）事故・ヒヤリハット報告（事故3件　ヒヤリ5件） 5）職員研修 6）設備トラブルに関する報告 7）八幡平市総合避難訓練参加報告	6名
令和8年3月25日	1）事業所概要 2）運営状況（利用者数の推移、平均年齢、要介護度等） 3）活動報告 4）事故・ヒヤリハット報告（事故4件　ヒヤリ5件） 5）職員研修 6）空調設備の更新について 7）利用者満足度調査の結果	4名

7　ふれあいセンター安代高齢者生活支援ハウス

前年度と比較して利用者数が大幅に増加し、安定した運営につながった。一方で、体調不良者が多く、救急搬送や入院対応が発生する場面も見られた。今後は、日々の健康観察および早期対応に努めるとともに、家族やケアマネジャーとの連携を強化し、安心して生活できる環境の維持に取り組んでいく。

(1) 入居者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
実人数	9	4	4	4	4	4	4	7	11	11	11	11	84	69
利用者数	239	124	120	124	123	120	124	153	323	328	291	305	2374	1844

8　グループホームやがみ

利用者アンケートや日々の新聞読み聞かせ、「その人らしさ」や「それぞれの思い出」に寄り添い、思いや意向、希望など利用者目線で支援することができた。様々な感染症の予防に努めたことで一時面会を禁止、窓を越した面会等の措置を実施し、利用者に大きな負担をかけた。地域との交流を進めることから、行事や屋外への活動を企画し、楽しんでいただけた。併設の地域交流スペースにおいては、認知症カフェや小学校交流の場になるなど地域交流に寄与した。

(1)保険者地域別利用状況　（令和８年３月31日現在）

保　険　者　名	男	女	計
盛岡北部行政事務組合	2	7	9
合　　計	2	7	9

(2) 入居者在籍状況

入所状況	男性	女性	合計
要介護度１	0	0	0
要介護度２	1	1	2
要介護度３	1	6	7
要介護度４	0	0	0
要介護度５	0	0	0
合計	2	7	9

(3) 月別入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度
月初人員	7	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	105	102
利用者数	214	275	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3225	3105

(4) 通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内　　科	1	8	6	4	7	4	6	1	9	2	9	2	59
精 神 科	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	7
脳神外科	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
脳神内科	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	7
泌尿器科	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	4

整形外科	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	8
眼　　科	0	2	0	3	0	1	1	4	1	0	3	0	15
歯　　科	2	1	1	5	4	5	4	0	1	0	0	0	23
内科（爪）	1	2	0	1	1	1	1	0	3	0	1	1	12
延べ人数	6	17	9	16	15	14	14	7	16	6	14	7	141
延べ日数	6	17	9	16	15	14	14	7	16	6	14	7	141
家族付添	3	1	0	1	3	2	1	3	2	4	0	2	22
歯科指導	5	6	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	133

(5) レクリエーション活動実施状況及び関連事業・行事

区 分	活　　動　　内　　容	誕生者	会　議　等	その他の事業
４月	開苑記念昼食会 お花見ドライブ　誕生会	２人	職員会議	理髪訪問サービス
５月	母の日（お楽しみ会）　誕生会 ドライブ　田山小運動会見学	１人	運営推進会議 職員会議	
６月	田山小学校畑作り訪問　軽トラ市 おやつ作り　男の日(お楽しみ会) 誕生会	１人	職員会議	沢目むつみ会 理髪訪問サービス
７月	先祓い見学(折壁・兄川)　誕生会 八幡平市：八坂神社まつり見学 七夕会　　花輪ドライブ	１人	運営推進会議 職員会議	沢目むつみ会
８月	8/22 納涼祭(スタミナ会) 花火見学　　お盆外出 (5 世帯)　誕生会	１人	職員会議	沢目むつみ会 理髪訪問サービス
９月	敬老会　誕生会 9/17 前期総合避難訓練	１人	運営推進会議 職員会議	沢目むつみ会
10 月	花輪ドライブ　軽トラ市 田山小学生訪問（芋掘り体験） 田山振興協議会チャレンジデー 10/29 火災避難訓練（特養まで）	０人	職員会議	沢目むつみ会 理髪訪問サービス
11 月	紅葉見学　誕生会　中華まん体験 安代町民文化祭見学 11/13 田山小学習発表会見学	１人	運営推進会議 職員会議	インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン予防接種
12 月	手打ちそば実演見学 クリスマス会	０人	職員会議	理髪訪問サービス
１月	書き初め　みずき団子飾り作成 鏡開き	０人	運営推進会議 職員会議	

２月	節分　バレンタインお楽しみ会 2/25 後期避難訓練　お誕生会	１人	職員会議	理髪訪問サービス
３月	雛祭り　ホワイトデイお楽しみ会	０人	運営推進会議 職員会議	

(6)運営推進会議開催状況

開催年月日	内　　容	参加者
５月 （令和７年５月 27 日）	1）令和７年度事業計画・年間行事予定 2）活動報告・次月予定 3）事故・ヒヤリハット報告（ヒヤリ３件） 4）令和７年度第１回やがみ入居者アンケート結果 5）その他：運営推進介護構成員名簿・任期期間・情報提供	９名
７月 （令和７年7月 30 日）	1）　令和７年度第２回やがみ利用者アンケート結果 2）　事故・ヒヤリハット報告（事故１件　ヒヤリ２件） 3）　活動報告・次月予定 4）　その他	７名
９月 （令和７年９月 24 日）	1）令和７年度第３回やがみ利用者アンケート結果 2）事故・ヒヤリハット報告（ヒヤリ１件） 3）活動報告・次月予定 4）その他　11/5 外部評価にむけて	８名
11 月 （令和７年 11 月 25 日）	1）令和７年度第４回やがみ利用者アンケート結果 2）事故・ヒヤリハット報告（事故３件　ヒヤリ５件） 3）活動報告・次月予定 4）その他　11/5 外部評価受審感想	７名
１月 （令和８年１月 27 日）	1）令和７年度第５回やがみ利用者アンケート結果 2）事故・ヒヤリハット報告（事故３件　ヒヤリ３件） 3）活動報告・次月予定 4）その他　外部評価受審結果　来年度に向けて課題確認	６名
３月 （令和８年３月 25 日）	1）令和７年度第６回やがみ利用者アンケート結果 2）事故・ヒヤリハット報告（事故２件　ヒヤリ１件） 3）活動報告・次月予定 4）その他	６名

(7) 月別面会状況

利用状況	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計	R6 年度
家族数	6	17	8	9	11	11	11	7	9	4	8	4	105	117
面会数	10	29	10	11	20	15	15	11	14	5	11	6	157	198

※感染対策のため面会規制中

(8) 地域交流スペース利用状況

利用状況	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計	R6 年度
利用者数	16	0	16	0	16	0	16	0	16	0	16	0	96	110
利用団体数	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6	8